

教会短信

牧師 間瀬 善彦

すっかり秋になりました。秋といえば、運動会を思い出します。競技には、勝敗は付きものです。勝利の栄冠を勝ち取るためには、血のにじむような努力もすることができるのです。

教会にはいろいろな方が相談に来られますが、牧師としていつも力の足りなさを感じさせられます。北九州の教会にいた時のことです。一組の若夫婦が尋ねて来られました。就職を探し回ったのだが仕事が見つからず、今晚泊まる所がない、というのです。幸いに、その後この夫婦は、自分たちで寮付きの職場を探し当てました。しかし、1ヶ月後に、再び教会を尋ねて来られました。お話を聞くと、夫婦とも態度が暗い、ということで見つけた職場を失ってしまったそうです。詳しいことはわかりませんが、夫婦の態度がその職場に合わなかったようです。わたしはその話を聞いて、せっかく決まった職場を暗いという理由だけで棒に振ってしまった夫婦に、どのようなアドバイスをしてよいのかわからなくなりました。世間では、このような夫婦を負け組というのでしょうか。どうしてあげることもできなかったわたしも、負け組の一人かもしれません。

聖書にこのような言葉があります。「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」(Ⅱコリント 12:9)。イエス・キリストは、この世の負け組に寄り添ってくださるお方です。なぜなら、自分は弱いと感じる者は、人に助けを求めることができるからです。イエスは、人びとから差別されたり、無視されたり、弱虫だと言われる人びとに目を注がれます。ひとりの大切な人間として寄り添ってくださるのです。負け組のわたしにも十分の恵みを与えてくださっています。ですから、イエスのように生きたいと思います。

ご案内

チャペルコンサート

- 11月12日(土)
- 午後2時～
- 入場料 自由献金

教会バザー

- 11月27日(日)
- 午後1時～3時

ヘルマン・ホイヴェルス「最上のわざ」ー人生の秋よりー

この世で最上のわざは何？

楽しい心で歳をとり 働きたいけれども休み
しゃべりたいけれども黙り 失望しそうなときに希望し
従順におのれの十字架をになう。

若者が元気いっぱい

神の道を歩むのを見てもねたまず
人のために働くよりも 謙虚に人の世話になり
弱って もはや人のために役たたずとも
親切で 柔和であること

老いの重荷は 神のたまもの

古びた心に これで最後のみがきをかける
まことのふるさとへ 行くために。

おのれをこの世につなぐ くさを

少しずつはずしていくのは 真にえらいしごと
こうして何も出来なくなれば 謙虚に承諾するのだ。

神は 最後に一番よい仕事を残してくださる

それは祈りだ。

手は何も出来ない けれども最後まで合掌できる。

愛するすべての人の上に 神のめぐみを求めるために。

すべてをなし終えた臨終に床に

神の声をきくだろう

「来よ、わが友よ われ なんじを見捨てじ」と。

．．．．．

年老いて何もできなくなったら神様に感謝して、ひとのお世話になろうと思います。それは、私がこの世につながれている鎖を神様が少しずつはずしてくださる時期が来たからです。でも、私はほんとうに何もできないのでしょうか？ いいえ、手足が動かなくなったら、言葉で神様を讃美することができます。言葉を発することができなくなったら、微笑むことによってイエス・キリストとともに歩む喜びを伝えることができます。顔の筋肉が動かなくなったら、敬愛する周囲の人々に目で温かい視線を送ることができます。それもできなくなったら、そのときこそ、今まで世の雑事に追われてできなかった本当の仕事をしたと思います。それは、次の世代の人々の幸せのために一生懸命祈ることです。



日本を救ったキリスト者の祈り(2)

【日本列島分割説】

戦勝国であるアメリカ、イギリス、ソ連(ロシア)、中国等の連合国は、日本列島を分割植民地化をと提案がなされた。北海道・東北はソ連に、四国・九州は中国に、その他本州はアメリカが領有しようと、ソ連が提案したものである。が、しかし、これに極力反対したのが、これまた中国の蒋介石であった。彼は、賀川豊彦牧師の熱い祈りを忘れることができなかったと言われている。これも神の導きなのかも知れない。

誠に、一人の人の祈りの大きさを思うと共に、真実の愛の祈りが、如何に大きなものであるかということ、今更ながら感じるのである。「仇をもって、仇に報いず」、の言葉そのものである。

もし、戦勝国の提案通り日本が分割されてしまったら、20 世紀後半の日本はどうなっていたであろうか。正に、キリスト者の祈りが日本を救う、否、世界を救う祈りかと思う。

【時の流れ】

筆者は、12 月になると、クリスマスよりも赤穂浪士討ち入りの忠臣蔵よりも、12 月 8 日の太平洋戦争開戦を思う。そして、8 月になると約 1350 日の戦争に終止符が打たれた、8 月 15 日の天皇陛下のポツダム宣言受諾のラジオ放送を思う。暑い日であったことも記憶として残っている。

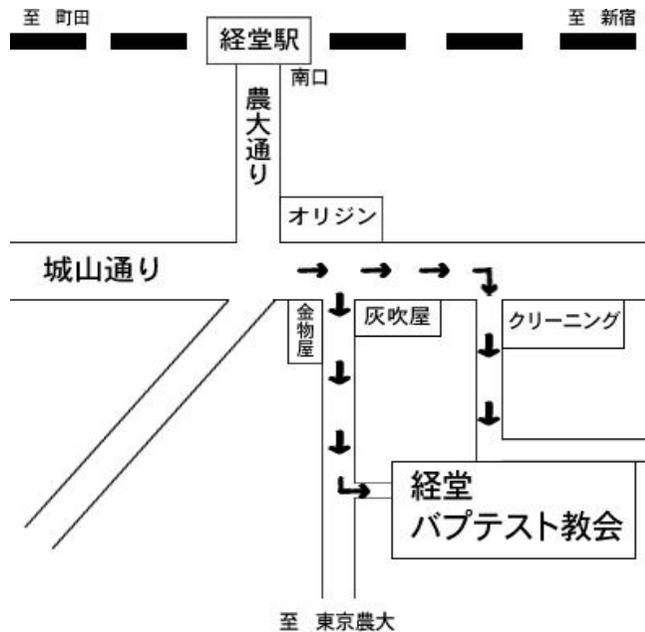
また、20 数回にわたり、ハワイの地を踏んでいるが、真珠湾(パールハーバー)という所に行ったことがない。日本人として負い目を感じる場所を避ける逃げの性格からだろうか。唯、パール・シティの山の上にあるゴルフ場から、アリゾナ記念館を何回も見ても知ってはいる。かつて、ケネディ米大統領が「世界最高の楽園」と称したりゾートの楽園にそんな悲しい真珠湾攻撃などという歴史があったのは忘れてはならないと思う。

【今、世界では】

「反日デモ」の波に揺れる、中国と日本との関係(筆者は無知にも、反日デモを「半日デモ」と思っていた、半日でやめなくても一日中やればいいのに、と)。1945 年のあの日から、60 年の歳月は流れた。今、中国は中華民国ではなく、中華人民共和国であり、一党独裁共産主義国家である。今こそ、グローバルな規模で、平和への道を歩むよう、真摯な祈りが必要な時機であると思う。世界を救える、第二の賀川牧師の出現を待望する——否、みんなが心を込めて祈ることではなからうか。

集会案内

主日礼拝	日曜日	午前 10時30分～11時30分
教会学校	日曜日	午前 11時45分～12時30分
青年科・成人科		
聖書を学ぶ会	火曜日	午後 1時 ～ 2時
聖書研究・祈禱会	水曜日	午後 7時30分～8時30分
英語教室 (英文法)	火曜日	午後 7時30分～9時
(英会話)	金曜日	午後 7時 ～ 8時30分



経堂バプテスト教会

牧師 間瀬 善彦

〒156-0053 世田谷区桜1-64-30

TEL 03-3426-0071

当教会は、エホバの証人、モルモン教、統一協会とは一切関係ありません。